



# 馬込だより

第547号  
令和7年1月24日発行  
大田区立馬込小学校  
校長 山本 秀一

## スポーツ観戦から学ぶこと！

副校長 河野 真典

正月の風物詩となっている『箱根駅伝』を見てその年がスタートするという生活を、私はもう何十年も送っています。今やメジャーになっている箱根駅伝ですが、その昔はテレビ放映も無く、老若男女全ての世代から人気のある大会でもなかったように思います。私にとって、自宅の近くを箱根駅伝選手が走ることもあり、陸上長距離を始めた頃から憧れの大会でした。

そんな箱根駅伝から、私は毎年いろいろなことを学んでいます。今年の箱根駅伝から学んだことは、1つの事を極めるには、覚悟をもって臨むことが必要であるという事です。箱根駅伝10区間の内、各大学がエース級を投入する区間があります。1つは『花の2区』と呼ばれる2区で、各大学がエースを投入します。そしてもう一つが5区の『山登り』です。今回この山登りで区間新記録を出し、逆転で往路優勝を果たした選手は、陸上長距離を始めた10年前から、この箱根の山登りを走る事だけを考えて長距離走を続けてきたそうです。本来長距離走の練習ではやらないスクワットトレーニングで大腿四頭筋を徹底的に鍛えて、山登りに適した走りを身に付けたそうです。平地で記録を出すことよりも、箱根の山登りを走るために全てを注ぎ込んできたという事に、敬意と感動を覚えました。

小学生の子どもたちに覚悟をもってとまでは言いません。しかし1つの事をやり遂げるには、心の強さとこつこつと努力することの大切さは伝えていきたいと思いました。

この他にも、今年の箱根駅伝からは、「縁の下」となって、陰で支えてくれている人の存在」という「感謝」についても学びました。皆様も今年の箱根駅伝や、その他様々なスポーツから、何かを感じ取り、学べるがあると、スポーツ観戦がまた一つ楽しくなってくるかと思いました。

## <2月の行事予定>

| 日  | 曜 | 行事予定                                         |
|----|---|----------------------------------------------|
| 1  | 土 |                                              |
| 2  | 日 |                                              |
| 3  | 月 | 全校朝会 委員会 低 PUT                               |
| 4  | 火 |                                              |
| 5  | 水 | 展覧会準備 高 PUT                                  |
| 6  | 木 | 展覧会①                                         |
| 7  | 金 | 展覧会②                                         |
| 8  | 土 | 展覧会③ 学校公開 特別時程3時間授業                          |
| 9  | 日 | 校庭開放13:00~                                   |
| 10 | 月 | 振替休業日                                        |
| 11 | 火 | 建国記念の日                                       |
| 12 | 水 | 区漢字検定 安全指導日 高 PUT                            |
| 13 | 木 | 学校保健委員会                                      |
| 14 | 金 | 午前授業(1・2年) 新1年生保護者会                          |
| 15 | 土 |                                              |
| 16 | 日 |                                              |
| 17 | 月 | 全校朝会 低 PUT クラブ いきいきタイム                       |
| 18 | 火 | お話会(低) 卒業スポーツ大会(6年)                          |
| 19 | 水 | 情報モラル指導 保護者会(5・6年)<br>5時間授業(4・5・6年) 野球教室(3年) |
| 20 | 木 | 広報委員会集会 保護者会(1・2年)                           |
| 21 | 金 |                                              |
| 22 | 土 |                                              |
| 23 | 日 | 天皇誕生日 校庭開放13:00~                             |
| 24 | 月 | 振替休日                                         |
| 25 | 火 | 保護者会(3・4年) 5時間授業(3・4年)                       |
| 26 | 水 | 高 PUT 野球教室(3年)                               |
| 27 | 木 | 集会委員会集会                                      |
| 28 | 金 |                                              |

※2月の避難訓練は、事前予告なしで実施します。

## 2月生活目標「寒さに負けず元気にすごそう」

生活指導部

今年度も、残すところあと2か月となりました。今年度は、例年以上にインフルエンザやその他、感染症が大流行しています。病気に負けない元気な心と体をつくるうえで大切なことは、規則正しい生活をおくる、手洗いとうがいをする、咳や喉が痛い時や体調が悪い時は必要に応じてマスク着用をするなどです。引き続き感染予防と防止に向けた声かけをしてまいります。ご家庭でも、ご協力よろしくお願いいたします。

## 【お願い】

今年は、暑さが厳しく寒暖差が激しい1年でした。また、秋を感じない季節で、一段と寒くなりました。今年度は、乾燥が厳しく全国的にインフルエンザや感染性胃腸炎、溶連菌感染症やりんご病、手足口病など様々な感染症が大流行しています。病院を受診し、医師から感染症と診断を受けた場合は、担任へご連絡のほどよろしくお願いいたします。その際に、「出席停止解除願い」を保護者の方がご記入いただき、担任へご提出ください。引き続き、感染予防と防止にご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 校内書き初め展

国語部

1月14日(火)～17日(金)に校内書き初め展を開催しました。

こどもたち一人一人が丁寧に一生懸命書いた作品が展示されました。初めて書き初めに挑戦した1年生や、初めて毛筆に挑戦した3年生も、心を込めて書き、「自分の良い字」に出会うことができました。

こどもたちはお互いの作品を鑑賞し、友達の作品の良いところを見つけたり、高学年の作品から自分の目標をもったり、今後の書写学習への意欲を高めていました。

保護者の方々もご協力、そして多くのご鑑賞をありがとうございました。



## 大田区漢字検定

学力向上委員会

漢字の読み書きの能力の定着を深めるために、大田区小学校漢字検定を2月12日(水)に実施します。今年度から年に一度の実施となりました。

80点以上が合格となり、認定証が渡されます。印刷室前に全ての級の過去問題が置いてあるので、担任の先生と一緒に取りに行き、練習に使えるようにしていきます。積極的に活用してほしいと思います。また、その他にも教科書やまなびポケットなどを活用して、合格を目指して頑張してほしいと思います。

もし、合格できなかったとしても、今回は再テストに取り組み、合格できれば努力賞の賞状が渡されます。ねばり強く、最後まで取り組んでほしいです。



## 展覧会に向けて

図工専科

2月6日(木)より2月8日(土)の3日間にわたり令和6年度展覧会を開催いたします。こどもたちが一生懸命作った作品が、本校体育館と家庭科室にたくさん飾られます。ぜひ、お越しいただき、ご覧いただければと思います。

ところで、この図工の教員という仕事、とてもワクワクする仕事だと思います。授業をしていると、いろいろな子が表現する姿を目にすることになるのですが、それぞれが表現に込める思いや工夫の数々には日々、圧倒されてしまいます。「エネルギーをもらう」と、言った感じでしょうか。こどもたちが表現する姿に触れていると、こちらも創造意欲が刺激されてくるようです。

ときには、じっくりと考え・作り・深まった末に「良いものができた…」と一人つぶやくこどもの姿に出会うこともあります。その表情は充足感に満ちていて、つくることの豊かさそのものを体現しているかのようで、神秘的な光景です。そうした瞬間に立ち会うとき、図工の教員になれてよかったなと思います。

こどもたちの姿から学んだことは、作品にはこどもの数だけ完成までの思いや工夫…ストーリーがあるということです。「どうしてこうしたんだろう?」「どう作ったんだろう?」「そして、どう感じたんだろう?」と、こどもの眼差しに立って、その物語を想像しながら作品を鑑賞していただくと、展覧会は一層味わい深いものになると思います。放課後であれば、お子様と一緒に来ていただくこともできます。ぜひとも、作品を基に、いろいろなことを語り合う機会としてみてください。

家庭科専科

5年生は初めてのミシンの学習で「ランチョンマット」を製作しました。1学期に学習した手縫いを生かした模様は、こどもたちが考え、縫い方を工夫して丁寧に縫っています。ミシンを安全に使うことも大切な学習です。自分の安全と、友達の安全にも気を付けながらペアで学習を進めることができました。何にでも意欲的に取り組む5年生の頑張りがつまった作品です。

6年生は「オリジナルトートバッグ」です。作りたいバッグの大きさから、必要な布の大きさを計算し、裁断するところから始めました。作り出すと、いろいろなアイデアが浮かんでくるこどもが多く、飾りやポケットなど様々な工夫が増えていきました。手縫いもミシンもすっかり慣れている6年生は、協力しながら製作を進めていきました。同じ材料で作っていますが、どれひとつとして同じものはない、世界でたった一つの「オリジナル」のバッグです。